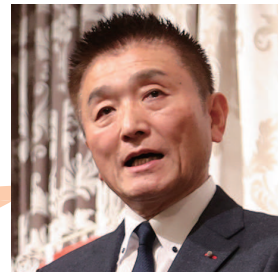




熊本県議会議員

高島和男がゆく

令和8年2月号



新春の集い



1月24日は地元、2月7日は地域・企業・各種団体等を対象とした「新春の集い」を開催しました。以下はその際の挨拶です。

国政に目を向けますと、昨年の参議院選挙の結果を受け、与党は衆参ともに厳しい状況に置かれました。その後、現政権が発足しましたが、政策の実現には野党の要求を丸のみせざるを得ない国会運営が続きました。この状況で、政権が総選挙に踏み切ったことは理解できなくはありません。実はこうした**既存政党の後退と新興勢力の台頭、制度疲労による「内政のぬかるみ」**は**日本ははじめ先進国共通の実態**でもあります。

かつて日本は高度経済成長を背景に「一億総中流」と云われた時期がありました。しかし失われた30年を経て中間層の縮小が進み、今では生活基盤に不安を抱く方が増えていることが、さまざまなデータから明らかになっています。社会の格差が静かに広がり、「今の暮らしを少しでも良くしてくれるのはどの政党か」という視点で政治を見つめる皆さんが増えるのは、極めて自然な流れと受け止めています。

「手取りを増やす」「日本人ファースト」といったメッセージは、何でも揃う

百貨店から、目的が明確で分かりやすいユニクロのような専門店を選ぶ人たちが先行きへの不安を抱える方々の心に刺さっています。これが現在の先進国に共通した選挙行動であり、その傾向は1年後の私の選挙でもより強まることが想定されます。

したがって、私自身、支えていただく皆さんはもとより、声を上げることなく政治を冷静に見ているサイレントマジョリティーに対して従来以上に分かりやすい情報発信の必要性を強く感じています。昨年末、政治の師である野田たけし先生がテレビインタビューに応じておられました。その際の「自民党税制調査会は嫌われ者の役回りだ」との発言には、長年にわたり国の財政・税制に身を投じてこられた矜持が強くにじみ出ていました。また、消費税導入時の選挙で、わら人形を作られ燃やされたという壮絶なエピソードも久々に伺いました。私も記憶していますが、先生は集会で「将来の国家国民のためには消費税の議論から逃げてはならない」と真正面から訴えられていました。その姿勢に、政治の責任とは何かを教えられ、私が政治を志す原点となりました。

令和7年度の国の歳入において、消費税は32%、所得税29%、法人税が25%の割合であることを見ても、今や消費税は

税收の根幹を成す最大の基幹税です。確かに国民の間には今もなお、根強い忌避感がありますが、仮に消費税が導入されていないければ、年金・医療・介護等の社会保障は成り立たず、子育て支援に充てる財源も確保できません。そのうえ地方自治体の歳入にも大きな穴が生じ、借金の高も今の額どころではありません。今回の財源を明らかにしない減税論議には深い懸念を抱いています。

これからの私たちの子どもや孫の世代の社会は今まで以上に多様で複雑、しかも変化のスピードはさらに加速します。「空気を読んで無難にやり過ぎず」のではなく、今より、未来を少しでも良くすることが、私たち議員に課せられた使命です。

今年も県政はもとより地域はじめあらゆる立場の皆さんの声に耳をすませて真摯に、迅速に取り組んでまいりますので変わらぬ叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。



地域を守る消防団

年末の12月26日、熊本市消防団南区方面隊の年末特別警戒出発式に出席しました。全国的に消防団員の減少が課題となる中、消防団の皆さんは大規模災害への対応はもとより、日常の火災・水害対応、防火・防災啓発活動、さらには地域行事の支援まで、常に地域の最前線で重要な役割を担っていらっしゃいます。

仕事や家庭を抱えながらも、貴重な時間を割いて地域住民の生命と財産、そして安心と安全を守り続ける姿には、深い敬意と感謝の念を抱いています。厳しい寒さの中、南区消防団員80名、車両19台が整然と並び、力強く年末特別警戒へと出発されました。

その後、30日まで夜警が実施され、火災が発生しやすい時期に地域をくまなく巡回し、安全確保に尽力されました。昼夜を問わず活動される消防団の存在が、地域に大きな安心感をもたらしていることを改めて実感しました。

また、1月11日には熊本市全体の消防団が一堂に会する「出初め式」が、今回初めて熊本城二の丸芝生広場で行われ、日頃の訓練成果が披露されるとともに、新年の防災への決意が新たにされました。



さらには各地のどんど焼きでも、消防団の皆さんは警戒や安全確保に尽力されています。宅地化の進行でやむなく中止となる地域も増える中、子どもたちに歴史や伝統文化を伝える大切な場が守られているのは、こうした支えがあつてこそです。竹を切り出し櫓を組み、草刈りをし、ぜんざいや焼き芋を準備する…その一つひとつに、消防団の皆さんの温かい思いが込められています。

今年が災害もなく、消防団の活動が最小限にとどまる平穏な一年となることを願うとともに、地域防災の要として尽力される消防団の皆さんに、改めて心から感謝を申し上げます。

異例の臨時会

1月15日、県議会では臨時会が開かれ、補正予算が可決・成立しました。昨年末に国の補正予算が決まったことを受け、2月定例会を待たず、少しでも早く県民の暮らしに役立てたいとの思いから、異例ですが臨時会を開く判断がなされました。

今回の補正予算には、物価高騰の影響を受ける生活者や事業者への支援をはじめ、半導体関連産業の集積に伴う渋滞や交通アクセス対策、防災・減災やインフラ整備など、今まさに必要とされる取り組みが盛り込まれています。

本会議での審議に続き、各常任委員会でも内容を丁寧に精査し、採決を経て再び本会議で可決されました。これらの施策が一日も早く現場で動き出し、県民の安心と安全につながるよう、引き続き責任を持って取り組んでまいります。

皆さんの声とともに

この誌面は、皆さんの声に支えられています。QRコードから、率直なご意見や感じたことをご聞かせください。現場で動き出し、県民の安心と安全につながるよう、引き続き責任を持って取り組んでまいります。



アンケートQRコード
スマホで読み取ってください



高島和男事務所

〒862-0962
熊本市南区田迎 2-17-7

届けます！あなたの思いを県政に
高島和男サポーター募集中です！

TEL.096-288-6004
FAX.096-288-6009

動画を毎月公開しております！
ホームページをぜひご覧ください。

<https://takashima-kazuo.com>

Facebookもやっています！

